



南の風

—第9号—

新年が始まりました。今年も、子どもたちが安心して学び、のびのびと過ごせるよう支えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今月の南の風では、子どもたちが気持ちを込めて取り組んだ「書初め展」の様子を紹介します。一文字一文字に込められた思いを、感じていただけたら嬉しいです。

書初め展

1月13～23日に、こども医療センターの渡り廊下で、小学部と重心部門の書初め展を開催しました。学部、学年ごとにそれぞれの方法で、思いを込めて表現しました。



小学部

1・2年生は硬筆で丁寧に文字を書くことを大切にしながら取り組みました。3年生は、初めての毛筆に挑戦しました。筆の持ち方や力の入れ具合に戸惑いながらも、真剣な表情で書き進めていました。4・5・6年生は、大きな画仙紙にのびのびと書き、力強さのある作品に仕上がりました。

完成した書初めが壁一面に並んだ様子はとても迫力がありました。低学年の子どもたちは、高学年の大きな作品を見て、「自分たちもいつかやってみたい!」と、憧れの気持ちを抱いている様子でした。書初め展を通して、学年を越えて学びや成長を感じることができました。

重心部門

筆を手に、一人ひとりが真剣なまなざしで今年の干支の「うま」の文字を書きました。迷いなく書く子、じっくり考えながら書く子、様々な表情が垣間見られました。色紙いっぱいに、力強い文字が並んでいます。小・中学部は自分たちの手形足形を取り、それを今年の干支の「うま」に見立てま

した。高等部は、ステンシルに挑戦。どの学部も、個性豊かな「うま」が生き生きと描かれています。できた作品を友だちに见てもらう時は、みんな誇らしげな表情でした。

「2026年も楽しいことがたくさんありますように。」

「今年も頑張るぞ!」

子どもたちのそんな願いが込められた作品となりました。



寒さが本格的になり、空気の乾燥が気になる季節になりました。学校では、子どもたちが毎日手洗いに意識的に取り組み、感染症の予防を心がけています。

また、教室では換気を行ったり、加湿器を使用したりするなど、安心して過ごせる環境づくりにも努めています。

子どもたちも、以前行った手洗い教室で学んだことを思い出しながら、一人ひとりができる予防を続けていけるといいですね。これからも、みんなで声をかけ合いながら、元気に冬を乗り越えていきましょう！



・～クイズ南乃風～・

横浜南支援学校には、こども医療センター内の様々な病棟や施設で過ごしている児童・生徒がいます。その中で、重心部門の児童・生徒が過ごしている施設の名前は何でしょうか。

A.おひさま B.ひまわり C.ひだまり D.ぽかぽか E.にじいろ

・～正解は2月号にて！！～・

★12月号の答えは[B. 2つ]でした。

横浜南支援学校には第一職員室と第二職員室の2つの職員室があります。第一職員室は施設・リハビリ棟の2階にあり、主に小学部・重心部門の職員が働いています。転出入の相談や手続きはこちらで行います。第二職員室はこころの診療棟の地下1階にあり、主に中学部の職員が働いています。校長室もこちらです。着任時はセンター内が迷路のようで迷子になった記憶があります（笑）



横浜南支援学校ホームページでは南の風のカラー版・過去号などを見ることができます！

URL (<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/y-minami-sh/>)

スマートフォンやタブレット端末の方は二次元コードからもアクセス可能です→

